

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-40	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅱ 333	高等学校 数学Ⅱ		

1. 編修の基本方針

- ①当該科目に関する知識と技能を確実に身につけ、それらを活用して思考・判断・表現する能力を伸ばすために、記述や題材に配慮した。
- ②1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、いろいろな立場を尊重する態度を養うことができるようにした。
- ③生活に関連のある題材や、数学を発展させた先人たちの業績について扱うことで、数学に対する興味・関心を高め、社会の形成・発展に主体的に関わろうとする態度を養うことができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し 1章	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした(第3号)。 	前見返し p. 7 の 19～23 行, p. 17 の 13～14 行, p. 20 の 12～16 行, p. 22 の 14～18 行
2章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 	p. 47, p. 51
3章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした(第3号)。 	p. 67, p. 88～89, p. 103 p. 81
4章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした(第3号)。 	p. 129, p. 142～143, p. 146～147 p. 123 の 12～15 行, p. 124 の 10～11 行, p. 125 の 8～9 行

5 章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や，学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで，幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 ・身近な題材を扱うことで，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにした（第2号）。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し，他者との協力を重んずる態度を養うようにした（第3号）。 	<p>p. 159, p. 173</p> <p>p. 174 の 15～18 行</p> <p>p. 162 の 10～13 行</p>
6 章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や，学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで，幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 ・身近な題材を扱うことで，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにした（第2号）。 	<p>p. 188～189, p. 202, p. 220～221</p> <p>p. 184 の 16～24 行, p. 197</p>
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充するページや，学習内容の理解を深めるための発展的なページでは，前小口に着色して，通常のページと明確に区別できるようにした。 		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-40	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅱ 333	高等学校 数学Ⅱ		

<p>1. 編修上特に意を用いた点や特色</p> <p>(1) 数学のよさが認識できる教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方や考え方のよさが感得できるよう、例題を豊富にした。重要な例題については、背景にある着想や根拠などを示した。また、節末問題、章末問題では、応用力を高めるための問題も扱うようにした。 ・ 生活に関連のある題材を扱い、数学に対する興味・関心を高められるようにした。 ・ 1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、数学の考え方の多様性に触れられるようにした。 <p>(2) 指導者にとっては指導しやすく、学習者にとっては理解しやすい教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡潔で正確な記述を心がけた。必要に応じて、本文や解答を補足するための注釈を置いた。 ・ 定義、用語・記号、公式、定理は、過不足なく扱うようにした。 ・ 学習内容を定着させ、理解を深めるための例題や問題を、過不足なく扱うようにした。例題の解答は模範的なものとし、表現力を身につけられるように配慮した。 ・ 本文内容を補充する学習事項を豊富に扱い、興味・関心に応じて選択できるようにした。 ・ 学習内容の理解を深めるために、数学Ⅱの学習指導要領に示されていない内容も扱うようにした。 ・ 既習事項を引き継ぐ内容については、接続がスムーズになるように配慮した。 <p>(3) ビジュアル面を工夫した、読みやすい教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルデザインフォントを採用し、読みやすさの向上に努めた。 ・ レイアウトを工夫して、紙面をすっきりさせた。 ・ 公式などの重要事項は、太字にしたり、枠で囲んだり、表にまとめたりして、強調するようにした。 ・ 本文をカラーにしたり、図版・イラスト・アミ版などを適切に掲載したりして、視覚的な効果にも配慮した。

2. 対照表			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章 式と証明 1節 式と計算 2節 等式・不等式の証明	(1) いろいろな式 ア 式と証明 (ア) ア 式と証明 (イ)	p. 4 - 31	16
2章 複素数と方程式 1節 複素数と方程式の解 2節 高次方程式	(1) いろいろな式 イ 高次方程式 (ア) イ 高次方程式 (イ)	p. 32 - 57	14
3章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円 3節 軌跡と領域	(2) 図形と方程式 ア 直線と円 (ア) ア 直線と円 (イ) イ 軌跡と領域	p. 58 - 105	25

4章 三角関数 1節 三角関数 2節 三角関数の加法定理	(4) 三角関数 ア 角の拡張 イ 三角関数 (ア) イ 三角関数 (イ)	p. 106 - 147	22
5章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	(3) 指数関数・対数関数 ア 指数関数 (ア) ア 指数関数 (イ) イ 対数関数 (ア) イ 対数関数 (イ)	p. 148 - 175	15
6章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用 3節 積分法	(5) 微分・積分の考え ア 微分の考え (ア) ア 微分の考え (イ) イ 積分の考え (ア) イ 積分の考え (イ)	p. 176 - 223	28
計			120

※年間授業時数を 120 時間として配当している。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-40	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅱ 333	高等学校 数学Ⅱ		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
47	3次方程式の解と係数の関係	2	(1) いろいろな式 「二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。」	1
146～147	和と積の変換公式	1	(4) 三角関数 「三角関数の加法定理を理解すること。」	2
合 計				3

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容